



『今月の会長』

「ご挨拶」

皆様こんにちは。昨年8月に日本フェンシング協会の会長に就任しました太田雄貴です。日本協会が普段どんな活動をしているか分かりにくいという声を各地で頂きましたので、協会はこの度、フェンシング関係者向けのメールマガジン<フェンシングレター>を発行するに至りました。私はこのメルマガの中で『今月の会長』というタイトルのコラムを綴っていきますので、楽しみにして下さい。

2020年東京オリンピックまであと900日。選手たちは今日も各々の目標に向かい全力で走っています。私は、日夜切磋琢磨している彼らが、日本フェンシング界がまだ手にしていない悲願の金メダルをとってくれると信じています。

そんな中、日本フェンシング協会が抱える問題点として今も昔も財政基盤があります。日本フェンシング協会の登録費が高い理由として、競技人口の少なさに加え、フェンシングが見るスポーツになっていないという点が挙げられます。

後者について、私は昨年の全日本選手権や高円宮杯で改革を始めました。まだ改革1年目ですので発展途上ですが、今後も一層の改善を図り、大会を魅力的なコンテンツにしていく所存です。スポーツ専門誌Number 電子版にて、私とその改革への想いを述べたコラムがありますので、是非、ご一読をお願い致します。

「太田雄貴会長の大仕事、全日本選手権。フェンシング大会でダンスにLED!?!」

Number Web posted 2018/01/24

<http://number.bunshun.jp/articles/-/829745>